

「車いす目線から巡る七尾の旅 2017 in 和倉温泉」の
冊子を七尾市内の駅・公共施設に配布



駅員④に冊子を手渡す桶屋善一さん—J R七尾駅で

車いす目線の和倉観光冊子

作製の桶屋さんが配布

七尾市青山町の障害者支援施設青山彩光苑に入所する桶屋善一さん(68)が二十一日、自身が作った車いす利用者目線での観光地などをまとめた冊子を、同市内

の駅や公共施設などに配布した。

JR七尾駅では、駅員に冊子を手渡した。桶屋さんは「みんなが見えるところに置いてもらい、車いす利用者の現状を知ってほしい」と話した。この日は、同駅前の複合商業施設「パトリア」や市役所など約二十カ所を回り、設置を呼び掛けた。

冊子は「車いす目線から巡る七尾の旅 二〇一七年の旅編 in 和倉温泉」と題し、和倉温泉駅や共同浴場、旅館を巡った。駅のスロープや車いすで利用できる旅館の客室を写真付きで紹介している。生後間もなく脳性まひにかかり、手足や言語に障害がある桶屋さんは、三年前から車いす利用者の目線から七尾の街を見た冊子作りに取り組んでおり、今回が三冊目となる。(松村真一郎)

2018年10月23日「北陸中日新聞」朝刊